



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

第1回自然再生活動を開催しました

津軽白神森林生態系保全センターでは、平成21年3月に策定された「白神山地周辺地域自然再生計画書」に基づき、平成22年度より自然再生活動として一般参加者を対象にブナ等広葉樹の苗木の採取及び植樹体験を実施しております。

今年度1回目は6月28日土曜日に西目屋村鬼川辺国有林180ろ2林小班内にて当日の参加者7名とセンター職員4名で実施しました。実施内容は予め当センターが近隣から採取し仮植していたブナ、ミズナラ、イタヤカエデ、トチノキ稚樹約20本の掘り取り植え付け作業を実施しました。

当日は、天気がとても良くて気温も高く、こまめな水分補給をしながらのハードな作業でしたが、皆さん頑張って作業されておられました。その後、昨年度2回植え付け作業を実施した箇所を見学頂きながら、植え付けしたブナ等が元気に育っている姿を実感していただきました。

午後からは、津軽峠までバスで移動して白神岳、高倉森を遠望してから、昨年春枯死した白神のシンボルだったマザーツリーの現在の姿を見学していただき、その後、ぶな巨木ふれあいの径を、約1時間ほど掛けて散策し、最後に、マザーツリー後継の白神いざないツリーを鑑賞して白神山地の森林の雄大さを実感していただき、第1回自然再生活動を終了しました。また、参加者からは、「初めての植栽で、どの程度の大きさのものを、どのように植えるのか興味があった。」「自然再生活動に参加出来、楽しかった。」「昨年の苗木の成長ぶりを目で確認できたことに対し、とても感動しました。」など、たくさんの感想をいただきました。

当センターでは、秋にも第2回自然再生活動を実施する予定となっております。ぜひとも、また参加をいただき世界自然遺産地域での植え付け作業を体験していただければと思います。最後になりますが、皆さんの元気に頑張って活動している姿が、いまだに、目に焼き付いている今日この頃です。



植え付け作業の様子



いざないツリーで記念撮影